



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して
電柱を撤去します

地元の声

- ・災害時に電柱が道を塞がないようにしてほしい（地域住民）
- ・歩道を整備して、安全な通学路を確保してほしい（地域住民・小学校）

事業前

- ◆幅員が狭い上に電柱があるため、地震や暴風時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路上の電柱がなくなるとともに、幅員が広がることで災害時でも安全な通行が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：前橋市上細井町
- 事業内容：歩道整備 延長700m 歩道幅 2.0m
電線共同溝整備延長 1,400m
- 事業期間：令和元年度～

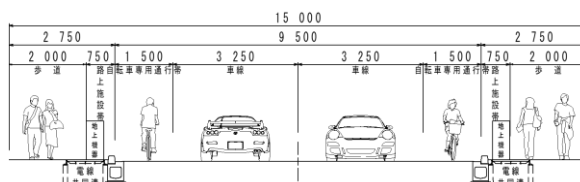


事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は、用地買収を進める予定です。

事業後の横断構成



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了